

話題コミプログラム（F）設計表

目標：F3011 コミスト（様々な手段を用いてコミュニケーションできることを意識し、相手の発話が理解できない時、自分の発話が伝わらないときの対処ができる）

F3012 自分話題（自分に身近な話題でコミュニケーションできる）

F3013 会話継続（時や場所、相手を考えて、前もって準備された話題や適切な表現を使って会話を継続させることができる）

1. 非言語手段も使って、初対面時の基本的な話題についてやりとりできる（質問される）

時期	サブプログラム（達成目標） [コマ数]	学習内容（学習項目） ※関連項目	活動の進め方・備考※
初期	①非発話的コミの意義 日本語学習の初歩段階で、コミュニケーションを成立させるために必要な様々な手段（発話によらない受信・発話のストラテジー）があることを知り、使える [4]	○ ・相手の発話が理解できない時の動作・表情による表明 動作で筆談を求める 状況・観察に基づく類推 ・自分の意思を伝えるための対処 動作・筆談・絵・具体物の利用 ※〈関連表現〉 「これ、何ですか」「貸してください」	本活動 ・日本語面接 ・日本語面接FB（コミの有効性確認） ・「物の用途を尋ねる」小実習（相手の使用するコミに着目） ・「物借り」小実習（コミの用い方） ※日直のRPや買い物のRPでもコミ強化
初期	② 基本項目提示 非発話的コミの使用 答え方導入 初対面時の最初の話（人間関係構築のための第一歩となる話題）をめぐる基本的な質問に対し、①の手段を併用しつつ、その意味を類推し、答えられる [8]	○基本項目…質問される [名前] お名前は [年齢] おいくつですか／何歳ですか [家族人数・構成] 家族は何人ですか 誰と誰ですか [出身地] 中国のどこから来ましたか [来日月日] いつ日本に来ましたか [誕生日・生年月日] ～はいつですか [仕事] 中国での～は何でしたか [趣味] ～は何ですか [出身地の特産物] 有名な物は何ですか ※〈関連語彙〉	本活動…各項目毎に以下の流れ ・関連の語彙導入 ↓ ・日本語と様々な伝達手段を使って、質問の意味を理解させる（話題の提示） ↓ ・コミによる答えを日本語に置き換えて リピート練習（答え方の提示） 復習 いくつかの項目をまとめて復習

		名前、親族名称、人数 数2桁、1月～12月、1日～30日	
初期 ↓ 中期	③基本項目会話キーワードの定着 初対面時の最初的话题をめぐる基本的な質問に対し疑問詞やキーワードを頼りにその意味を理解し単語レベルで答えられる [3]	○②の既習基本項目 ○疑問詞「誰、どこ、いつ、おいくつ、何歳、何人、何」 ○キーワード「名前、家族、日本、中国、誕生日、生年月日、仕事、趣味、有名な物」	本活動 ・疑問詞とキーワードの中国語を見て、日本語を言う→質問の聞き分け練習→Q & A (家族についても同様の質問) 毎時 ・上記キーワードカード定着トレーニング ・教師の簡単な自己紹介聞き取り or 聴解練習 ※疑問詞は語彙表現の授業でも定着を図る
<p><ステップ1>方法：交流会 [初対面会話] の教師の観察と自己評価結果 基準：写真や地図、①の手段を活用しつつ、③がどの程度達成できるか。</p>			

2. 1より言語要素を増やして初対面時の基本的な話題についてやりとりできる (質問する、質問される)

中期	④基本項目を文字化して構造整理 初対面時の基本的な質問について、文字化して文の構造を理解する [3]	○文法：名詞文「～は～です」 (教材Fタイプ) ○作文：自己紹介文 ○読解：私の家族	本活動 ・文法：中文解説 ・作文：モデル文の読解と音読→モデル文に沿った穴埋め式作文 ・読解：本文を中文訳→本文の内容について口頭でQA→Aを日本語で記入して確認
<p><ステップ2>方法：読解の授業 基準：本文を中文訳し、内容についての口頭質問に正しく答えられるか</p>			
中期	⑤発話的ミス導入と基本項目会話の運用力 a 初対面時の最初的话题をめぐる基本的な質問に対しコミュニケーションを成立させるための補助手段(発話による受信・発信のストラテジー)を併用しつつ、文レベルで聞き取って答えられ	○ミス ・相手の発話が理解できないときの対処 わからないことの表明「わかりません」 聞き返し「もう一度お願いします」「ゆっくりお願いします」	※ミスは話題の授業での教師とのやりとりの中や語彙表現のインタビュー小実習で随時導入し、使用を促す

る	[3]	<p>ます」「～何ですか」繰り返し（+イントネーション）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の発話が伝わらない時の対処 筆談の申し出「書いてもいいですか」 既知の日本語による言い換え <p>○②の既習基本項目…質問される</p> <p>○②の既習基本項目…質問する</p> <p>[名前] [年齢] [家族人数・構成] [誕生日]</p> <p>[仕事] [趣味]</p> <p>[出身地] 故郷はどこですか</p> <p>※<関連表現></p> <p>故郷から～までどのくらいですか</p> <p>故郷はどんな所ですか</p>	<p>本活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話総復習（含：適切なコミの使用とタイミング） <p>毎時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴解練習 ・ストラテジーカード中国語を見て日本語を言う
---	-----	--	---

<ステップ3>方法：交流会〔初対面会話〕での教師の観察と自己評価結果 基準：⑤のa bがどの程度達成できるか
方法：項目面接テストの教師の評価 基準：⑤のaがどの程度達成できるか

3. 話題の拡張にも対応できるようになる

中期 ↓ 後期	<p>⑥応用項目会話（語彙表現と話コミの複合）</p> <p>初対面時の最初の話題についてのやや広がった質問に対し、コミュニケーションを成立させるための補助手段や3022の日本語力を土台に質問を理解して答えられる</p> <p>[4]</p>	<p>○応用項目以下の話題</p> <p>[私の家族について]</p> <p>[故郷について]</p> <p>[中国での仕事について]</p> <p>[趣味について]</p>	<p>本活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話題の授業
中期	<p>⑦応用項目を文字化して整理</p> <p>上記のやや広がった質問について、文字化して文の構造を理解する</p> <p>[4]</p>	<p>○読解</p> <p>[私の家族]</p> <p>[私の故郷]</p> <p>[私の仕事] 本文は②の基本項目と既習の語彙表現を含</p> <p>[私の趣味] んだもの（教材F）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読解：本文を中文訳→本文の内容について口頭でQA→Aを日本語で記入して確認

後 期	⑧会話継続（語彙表現と話コミの複合） 初対面時の最初の話題や3022の語彙表現リストの中から、共有できる話題を選んで、自然な配列のもとに、質問を展開し、3011の補助手段を併用しつつ、答えを理解できる [3]	○既習基本項目 ○既習語彙表現 ・中国へ行ったことがありますか あります→いつ、どこに、誰 ありません→行きたいですか、どこに、どうして ・中華料理を食べたことがありますか	本活動 ・質問の流れ決定 ↓ ・個別指導で質問練習 ↓ ・交流会直前練習 ※語彙表現は動詞文プログラムで導入済
<ステップ4>方法：交流会〔初対面会話〕の教師の観察と自己評価結果 方法：修了期日本語面接の教師の評価と自己評価結果			

基準：⑥⑧がどの程度達成できるか
 基準：⑤⑥がどの程度達成できるか